

番号	129	鳥巢天満宮の鳥居		
所在地		白石町大渡 鳥巢		
災害別		平成３年（１９９１）台風による暴風		
目的別		遺 構	建立年	平成９年１０月
特記事項		昭和３６年（１９６１）台風被害についても記されている。		



平成3年9月12日から28日にかけては、3個の台風が相次いで日本に上陸または接近した。特に台風17号（9月14日長崎市付近上陸）は佐賀で最大風速25.6m、19号（27日佐世保市付近上陸）は佐賀で最大風速29.1mを記録。特に19号台風では暴風による森林の倒木が多数発生。青森県では収穫前のリンゴの落果など全国で大きな被害が生じた。

鳥居には、平成3年9月台風のため倒壊破損としか記されておらず、17号、19号のいずれの台風により倒壊したのか資料等が見当たらず不明。

鳥居の右柱裏面には「寛政六年（一七九四）十二月吉祥日謹建 施主 鳥巢村中 庄屋 九郎右衛門 村役武左衛門 神主永代河内守 藤原秀盛 昭和三十六年台風ノ為笠木島木 貫抜落下翌年補修ス 平成三年九月台風ノ為鳥居全体倒壊破損ス」と記されており、二度にわたり台風で被害を受けたことがわかる。鳥居の左柱正面には「平成九年十月吉日再建 施主 鳥巢区」と刻まれている。またその裏面には、宮司、建設委員長などの氏名が刻まれている。現在、神社は参道の階段を含めかなり荒廃しているが、境内には、彦山大権現や山神、役神の祠、明治14年巳8月吉日 鳥巢村中と刻まれた手水などがあり、古くから地元の信仰を集めていたものと思われる。



国土地理院 電子国土 Web